

Cente Technical Information

発行番号	002-0001	Rev	第1版	発行日	2009/04/23
題名	ping応答の受信でメモリリークが発生することがある障害について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.40 ・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.10 ・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.1.00 - Ver.2.10				
関連資料	なし				

【詳細】

Cente IPv6では、pingを送信して、応答を受信するping6_send()というAPIがあります。この関数では、pingを送信したあと、「応答を受信した」というメッセージキュー待ちの状態になります。応答が返るとメモリを確保し、「応答を受信した」という内容にして、上記のメッセージキューに積みます。pnig6_send()は、そのメッセージを取り出し、メモリを解放した上で関数から返ります。

通常、pingの応答は1つですが、宛先をマルチキャストにした場合など、複数の応答が返る場合があります。そのとき、前述のメッセージキューが一杯になって積みなくなるケースが発生しますが、その場合確保したメモリ解放を行っていませんでした。

【回避方法】

以下のいずれかの方法で回避してください。

- ・マルチキャストアドレスをping6_send()の宛先にしない。
- ・ソースコードを変更する。
(改変箇所については、別途お問い合わせください。)

以上